



# ひょうひよ(よ)

NO.2 2015.4.28

雪や雨が多く、おもろい天気が続いた4月。やがて最近になって春の陽気を感じられるようになりました。スキーウエアフリースが手離せないようになりました。これで冬物も来シーズンに向けて、さりげなく洗濯でももう少し。それそれでひつたつあおきなり、「おおくりさん」「くりさん」「まつぼっくりさん」と呼ばれるこどにも慣れて玉な様子のあおきな子の4人だ。そしてあおきな人達と混じりあって遊び、ぐるぐるさんたち。気温が低く雨の日も多かったので、ぐるぐるさんにてはむす条件のスタートではなかつても、本当にみんな堂々としています。

朝のあつまつ。例年五つこども園を続けていたり、切り株に座ることに抵抗感がある立歩いていたり不安な様子がしばらく続いているのですが、今年度は3週間ともなると最初から切り株に腰入り、名前で呼ばれて「はーい」手を挙げて返事をする人も多く、絵本や歌も五のしんでいます。そして見事な「あそびっス!」木下まり入り、泥をこね、電車ごっこで森を模倣し、秘密基地に入り、崖を登る...。雨も不自由に感じず、ドロドロしたがて遊んでみる。たつぱの遊んで後のランチ、それはいい食べ物です。これから身体で動いて遊んでいた子たちも、帰りのあつまつで眠たくなってはう子も、はいのこども驚きます。ハリココの場面で「食欲」を感じるぐるぐるさんたちです。

保護者の方へ一日の様子を降園見にかいつまんでお知らせみて「絵本がんば家では奥心をあきらめないのに...」「家では自分でスプーンで持ち食へたりしていいのに！」と驚かず反応が遅くなることがあります。これは向むじんぐさんには限ったことではなく、あおき、けいの子でも違でもあります。お母さんとおじいさんは泣いていたり、見られると泣いていたりして泣き止む。家で17食べないもので、ひづのランチで食べる。家で手伝わないと着替えられないのに、ひづのと自分でできます...。「なんで？」と思ふかもしれません。家庭での学びひづでの学びがまだ引人かのよう進んであるのは、とても自然なことです。

先日、母子関係や子どもの自立過程を研究している方の著書を読みました。その方の研究で、家庭で親しい場面で保育園で保育士といふ場面で別々の日の同じ時間帯に訪問し、それとの場面で同一の子どものビデオ撮影を行なうというものがありました。その研究の結果、例えは保育園より家庭にいる時のように、大泣きをするなどして、1歳を過ぎた子でもたちは、家庭と保育園で驚くほど行動で切り替える傾向があることに気がかります。(「アロマサージ」の島の子でもたちは、根岸山光一、新曜社、2012) これは保育園は多くの大人と子でも多いが公共性が高い場所であり、家庭は親子だけにこじて私的で親張り的な環境であるという違いが起因しているのではないかと指摘していました。その上で、家庭では親との間で自己を主張するという学びが行われ、保育園では、子どもは「大人」と「子」の目で見たいつ自己制御的に内面化して公徳心を鍛錬していく。家庭と保育園のどちらの経験も子の育つもので不可欠な要素だとして述べられていました。至極納得。我が家子の家庭でひづでの両子の学び観察でも特異な立場の僕は、それを強く実感します。

子どもといふ存在は、中心が一つのまわりの円ではありません。それは階段の上に成長する上りでもありません。少しごく過ちもしませんが、複雑で、ぐらぐらで、理解困難で一筋縄ではいかない存在だと僕は思っています。どの子でもたちは、家庭でひづの、ひづののあおきな世界で育つべきです。大人には理解がたい言動も、子どもなりに理由や背景がああこのこと。どの子でもの気持ちに寄り添いつつ、必要な時には手を貸し、一年間の育ちを見守りたいと思っています。

桂之介

## おおきいくみ だより や

今年度のおおきいくみは、まつぼっくり10名、くり6名、おおくり9名の25名スタートです。おおきいくみでは、朝の集まりの前にマラソンをします。いつものように体操をして、マラソンがスタートすると立ち止まって「?」はまつぼっくりさんやみんなで走るんだ...ということが分かると走りだします。ひづの日、どんぐりさんはまだ少し早い時間のランチになります。「きっと、まつぼっくりさんも一緒に食べたくないせうね」とスタッフで言話をしていましてので準備はしてました。しかし想定外だったのは、おおくり・くりさんもどんぐりさんのランチが始まるとき一瞬で近づいて、朝次郎・翠・悠太は水筒を持って平均台に座り、行列に並んでいる人のように席が空くのを待っています。他のおおきいひとたちもさわさわしているのがわかりました。キッチンから香るお料理の匂いと音に誘われ、ひづの日はお腹がすくのが早いおおきいひとたちです。

おおくりさんはお掃除でどうきんを使います。一年間使う自分のどうきんを作りました。初めての針仕事の人もいます。しかし糸通い方を丁寧に伝えると一回で理解出来ます。一針ごとに布を裏返しながらゆっくり糸通っていく理央子・翠・明日香・悠太・俊林・行人。布が少し大きかったので糸通う箇所がたくさんあり、じづきしましたが、食飼きるだけでなく、地道にコツコツと糸通う姿がありました。本当に布を針でくすぐって糸通してしまった方が簡単なのですか? 初めての針仕事だったので、一針、一針糸通うことを先に伝えました。じづき・翠・明日香・朝次郎は布をくすぐって糸通う方が得意なようです。おしゃべりをしながら、集中もしながらのチクチク針仕事は楽しいものです。理央子「おおくりさんはこうやってどうきんを作っていたんだね~。学校かあ~やだなあ」明日香「このあと言葉の練習する?」みほ「え? ありがとうの会の?」明日香「どうだよ」と一年先のじづきを始めた理央子と明日香。みほ「えー! まだまだおおくりさんでたっぷりあそぼうよ!」理央子・明日香「そ、か~そうだね!」と笑ってしまうことがありました。ついこの間までおおくりさんが学校への準備をしていましたこと、ありがとうございますの会の準備をしていましたことをよく覚えていて、「さあ、自分の番が来た!」とやる気になつたのです。また、おおきいくみで田んぼで種もみまきのお仕事があり、おおくり・くりは、長靴と靴下をぬいで田んぼに入る話を伝えると「やだ! 長靴化ねがい」とま。すると隣にいた翠が「すかさず」「大丈夫だよ。ちゃんと洗えるし、きれいになるから気持ちはいいよ。」と丁寧に話しかけていました。おおくりさん「わかった!」と了解したわけではありませんが、決意を約得。でも大人の声かけは一言もいりませんでした。自分よりちいさいひとへの声かけを丁寧にしている人。ひとつおおきくなつたことが嬉しい人。どんぐりさんの絵本の時間にちゃんと座つていた人もいたり...。気におおきいひととなり戸惑うまつぼっくりさん...と木葉々ですが、ひづの少ししづつ大きくなつたことを実感しているはずのおおきいくみのひとたちです。

今年はどんなおおきいくみの一年になるのでしょうか。おおきいくみのひとたちと楽しいこと、面白い事、たくさん見つけ出して楽しくいきたいと思います。

本文敬称略 : 美穂

## お知らせ

- ・どんぐりさんの 降園時間が変わります。  
5月12日(火)～14時 みんな同じ時間です。

- ・今年度第一回目の保護者会を開きます。万障 手継り合ひでご出席をお願いいたします。

日 時 5月 13日(水) 9時20分～お昼頃  
 場 所 バイブルメインホール (そのままメインホールで昼食を召しあげ)  
 ることは可能です。

- ・今月から くるみの日と ひびきの森解放日が始まります。ご希望の方がいらっしゃいましたら ひびきHPをご覧下さい。お伝え願います。

- ・今年度の油泊まり会については、保護者会で 計りく お伝えする予定ですが、ご家族同士の楽しい親睦の時にはお下りいなと願っています。

- ・テント泊 可能です。宿泊代が 毎回100円です。
- ・小学生以上の方は、スタッフと一緒に 手と手で 緊張です。
- ・5/5(金) 15時頃～ 6日(土) 10時頃を予定しています。
- ・保育の一貫として 行なうプログラムです。

## おおきいくみの方へのお知らせ

- ・今月のアート日 11日(月)・25日(水)

- ・今月のえりんこないそう 20日(木)

- ・今月のライジングスクール 14日(木)

- ・今月の田んぼ 18日(月)

- ・今月のお料理 21日(木)

毎月 一回を予定しています。お弁当は要りません。  
 メニューは 子ども達と 相談します。

ランチ代 300円は 納入袋にて お納めいただきます。

## 田畠アーティ

4月16日(木) おおきいくみでは田んぼで油の蒼もけ等をまきました。4月始めから水位は浸けたままで種は小じて土を出しています。ひとつ一粒くっかないと苗床の土にまいて土とくん炭(もみ殻を炭にしたもの)をかけて覆い 苗床の出来上がり。これから少しずつ芽が伸びるのでお寺で見に来てください。これからも大気にもよろこびます。5月末～6月初めにかけて田植えの予定です。油の畠では人參とカブト稚まきもこなします。田畠が活動の春! ですね。 美和子

## 山崎賢司さん ご紹介

わたくさんの田畠の師匠、川島君の美齊洋輔先生。自然農の世界では有名な方だそうです。みどりを意識されたおしゃれな一人。山崎賢司さん(1丁んちゃん)にてわたくしの農業仲間で、ひびきにも子供たちに野菜や加工品(たくあん、セリテレ大阪・トマトソースなど)を分けさせてもらっています。ランチメニューは(たくあんの～♪とある日は要チェック! 今年もおいしいランチでできることあります。

ひびきの森の木の仲間たち～森の中でみつけたね!～<4月カラマツ>

森の木々がかわいらしい若葉を広げる季節になりました。冬の間、眠り続けていた植物たちが、子どもたちの声を聞いて一斉に目をさましたかのようです。

今年度紹介する森の仲間には「カラマツ」の芽。集金袋に描いてある12種類の木の芽を1つずつ紹介していく予定です。これらは全てひびきの森にありますので、ぜひ、探してみて下さいね。袋に描いてあるのは冬へ早春の木の芽の姿ですが、植物は春夏秋冬と様々な姿に変わります。その変身ぶりを楽しく見ていただける1年になります…と思ってます。さて、4月、まずは最初に紹介するのはカラマツの木。カラマツの木は矢印でいても、みんな死んでしまったことがありますか? 4月末～5月にかけて咲くのですが、雄花と雌花の2種類あります。そして雄花は下向きにでき、雌花は上向きに咲いているのです。どちらかがかります。なぜ、上と下に分かれているのでしょうか…。それは雄花が花粉をとるし、雌花は花粉をキャッチするので一番適合がよいように造っているのです。

そして花の色ですが、雄花はクリーム色へ薄緑色をしています。びっくりするのが雌花で、形はカラマツのマツボックリの形ですが、なんとショッキングピンク!(=螢光の黄色、黄緑!)という派手!?な色合いであります。

(木の色合葉にそうち色がなくて、表現しきれず…。すみません)

まるでその様子は海の中のイソギンチャクのようです。

ぜひ、ぜひ、これからが見頃です。今年の春はカラマツの花のお花見をしてみて下さい!

感動しますよ～!!

:菜々恵

